

聖霊降臨節第21週 聖餐礼拝

2016年10月2日 第一礼拝(午前8:00～) 聖餐礼拝(午前10:30～) 夕拝(しばらく休会とします)

前奏	(新聖歌41)		
聖餐の招詞	司会者		
※賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここに」	—	同
聖書交読	交読文53「ルカの福音書第22章」	—	同
祈禱	司会者		
分餐	(新聖歌53)	—	同
感謝の賛美	新聖歌254「心にあるこの安きを」	—	同
聖書朗読	『サムエル記 第一』3章1-21節(旧約469頁)	司会者	
黙想	—	—	同
説教	「主よ、お話しください」	近 伸之牧師	
黙想	—	—	同
※応答の賛美	新聖歌331「今日まで来たのは」	—	同
感謝の献金	—	—	同
感謝祈禱	森田 澄子姉		
諸報告	司会者		
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近 伸之牧師		
※後奏			

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立ください)

第一礼拝	司会・説教：近 伸之牧師	演奏機：片山 勝三兄	献金：沼田佐代子姉
司会	：近 伸之牧師	映像・音響：片山 浩司兄	C S 担当：近 伸之牧師
集会	：小山 千春姉		
配餐	：片山 勝三兄	録画：近 伸之牧師	掃除：佐藤 鈴子姉

説教メモ

- サムエルは忠実だったが、神との個人的な交わりを知らなかった。神から呼び声を聞いても、堂々巡り。
- エリは教育に失敗した。しかしサムエルを呼ぶ方に気づき教えたとき、彼は最も大切な務めを果たした。
- サムエルに与えられた預言は、極めて残酷なものだった。だが、ただ神の言葉だけを語るのが預言者。

先週のみことば

「イエスは彼に言われた。『あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです』
(ヨハネ20章29節)

今週のみことば

「主よ。お話しください。しもべは聞いております」
(第一サムエル3章9節)

個人、団体からの来信

2016年10月2日

「PBAだより」／宣教区教師会の案内[10月31日(月)午後1時半より新潟福音教会にて]／
教団紙「世の光」第793号／総動員伝道／
北新潟キリスト教会より、「下川先生ご夫妻との茶話会のご案内」[10月8日(土)午後2時より]

先週の集会出席者数

9/25(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児- 成人男性- 幼児女子2 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児4 成人女性2		
	第一礼拝	男2 女6 計8		※月に一回、実用書道教室を開催
	歓迎礼拝	男10 女17 計27	9/26(月)	月曜家庭集会 男2 女3
	(子ども)	男児1 女児5	9/28(水)	バルナバ祈禱会 男3 女6
	※夕拝はしばらく休会としています		9/30(金)	しゃべり場タビタ 男- 女
			9/30(金)	金曜祈禱会 男- 女4

諸集会のご案内

		※月に一回、実用書道教室を開催
	月曜家庭集会 (休会)	
10/5(水)午後7:30	45周年記念行事準備祈禱会	司会：近 伸之牧師
10/7(金)午後1:30	しゃべり場タビタ 渡邊智子姉宅	問合せ先：渡邊 智子姉
10/7(金)夜	金曜祈禱会 教会堂	

10/9(日) 聖霊降臨節第22週

第一礼拝	(第一礼拝と教会学校は、特別礼拝に合流)		
奉仕者確認と祈り	午前10:00		
特別伝道礼拝	午前10:30	司会：近 伸之牧師 集会：小林 洋子姉 映像：近 伸之牧師	音響：片山 浩司兄 説教：下川友也牧師 録画：近 伸之牧師
感謝祈禱			山岸あけみ姉
掃除			長谷川睦子姉
礼拝について	(前奏：41) 聖書『使徒の働き』16章25～34節 応答：428	開会：2 16章25～34節 頌栄：62	感謝：257 説教：「真夜中のさんび」 派遣：54
午後の予定	12:30～13:30 記念愛餐会 14:00～15:30 記念茶話会		
	※諸般の事情により、夕拝はしばらくの間休会とします。		

報告

- 礼拝の感謝
聖餐礼拝の恵みを感謝します。主の贖いの恵みを心に覚え新たな一ヶ月を歩みましょう。
- 北新潟キリスト教会での茶話会について
今週8日(土)午後、新潟に来られる下川先生ご夫妻を同教会でお迎えし、茶話会がもたれます。都合のつく方、出席を希望する方は、本日中に近牧師夫妻まで声をおかけください。
- 個人のこと
佐藤繁実兄は昨日桑名病院脳外科を受診され、ご入院となり、2週間様子を見ることになったそうです。兄弟の霊肉の守りを祈りましょう。

ある砂漠の案内人が大学教授を案内して砂漠を渡った時のことだそうです。その案内人は敬けんなクリスチャンで、その教授と共に旅をしながら、しばしばお祈りをささげたそうです。ところが、あるとき教授が「きみ、科学万能ともいわれる時代に、今さら神を信じ神に祈るはないだろう！神を信じるなどとはバカバカしいことだよ！」と言ったそうです。

その日も、太陽が砂漠を真っ赤に燃やして沈んでいきました。彼は教授のためにテントを張り、自分は毛布にくるまって寝ました。翌朝早く、教授は大声で彼を起こしました。というのは、教授が起きてテントのまわりを見ると、どうやらサソリが歩きまわったような足跡がいつぱい。そこで「こんな危険な所に自分を寝かせたのか！」というわけです。そのとき、案内人は教授に言いました。

「先生、先生はサソリを見たんですか。」
「見るも見えないも、この足跡を見れば、ゆうべテントのまわりにサソリが何十匹もいたことがわかるだろう！ きみは何年案内人をしとるんだ！」
すると、彼は言いました。
「先生、足跡だけでサソリがいたとおっしゃるのは、私が今どき神さまを信じているのがバカバカしいとおっしゃったのと同じで、先生もまたバカバカしいですよ。先生、真っ赤に染まった砂漠の夕焼け、降るような星空、そして輝きながら昇る朝日。これは、神さまが確かにおられるという足跡ですよ。」

まあ、どっちが教授だかわからなくなってしまうような会話ですね。ある人がこう言っています。

「ひとつの美しい景色は、あらゆるいのちの集合体で、それぞれのいのちが対等に結びあっているから、それを形づくることのできるのだと考えられる人間は、自分以外のいのちを侵すことを極度におそれるだろう。神をおそれるというのは、そういうことを言うのである」と。

枯れ木のような黒茶けた枝に新緑の芽が吹き出す。いてつく寒さの中、いつ止むとも知れずに降り続ける雪が屋根や木々に積もって神秘的な銀世界をつくる。日本ほど、春夏秋冬の自然の美しさに富んだ国が他にあるでしょうか。しかし、日本ほど、この天地万物を創られ支配してもらえる神を信じる人の少ない国はありません。

自然の神秘にふれたとき、「ああ、これもあれも神の足跡、神がおられる証拠だ！」と感動をもって受けとめて生きることが、「神をおそれる」とにつながるのです。

「はじめに、神が天と地を創造した。」
(創世記 1:1)

「主を恐れることは知識のはじめである。」
(箴言 1:7)



橙をうけとめてをる虚空かな (上野 泰)

橙(だいだい)はミカン科の常緑高木。晩秋に橙色の実をつけ、冬に熟して黄色くなる。熟しても実が落ちず、木についたまま年を越すことから「代々」とかけて、正月飾りに用いられる。取らずにおくと次の夏に緑色になるので「回青橙」と言う。

2016年度教会目標

「信仰の家族に善きことを」

年間目標 それぞれに違った賜物が与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「機会のあるあいたに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう」(ガラ6:10)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

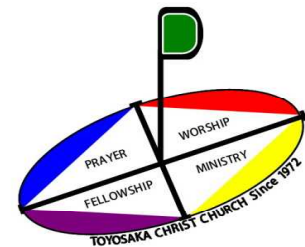
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。

★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



10/8(土)「たましいの慰め ころの余裕」堀 肇さん

牧師であり、大学の講師、カウンセラーで、多数の著書を執筆している堀肇さんの著書『たましいの慰め ころの余裕』(2000年発売)が、新たに4編の書き下ろしを加え、改定出版されました。この本は、牧師として、またカウンセラーとして多くの方と関わってきた堀さんが、たましいが慰められるとは、どういうことを具体的に綴ったエッセーです。堀さんに、この本について、たましいの慰めについてお話を伺います。

Broadcast for **Expanding Gospel into Niigata** **BEGin**。ここから始まる、あなたの伝道。

私たち**豊栄キリスト教会**は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。